

# 先生も体験！メディアの特性を知ろう「カメラワーク」編

1 写した写真の中から、伝えたいことが一番分かりやすく伝わるものを選びスピーチをしましょう。

■使う写真が決まったら、原稿を考えましょう。

スピーチに合わせて原稿を作成します。話すスピード

- ・文字数と所要時間の関係

を先生方に意識していただくよい機会にもなります。

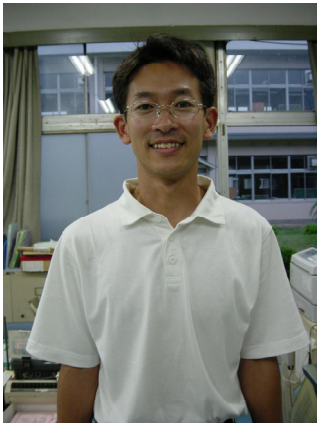
※100字＝個人差はありますが、約20秒のスピーチになります。

2 「他の人のスピーチは伝えたいことが分かりやすく伝わっているか」ということを審査するとき、「自分だったらこうするのに…」という見方をしながら聞きましょう。

話し手の名前	伝えたいことが〇〇ならば、自分だったら□□するのに
	<p>情報を批判的に分析するということは、ただ相手の考えを否定することではありません。相手の考えを受け止め、建設的な意見を述べる姿勢が重要です。子どもにも、相手の意図を知った上で「私だったら〇〇〇すると思うけど、そのことについてはどう思いますか？」などという言い回しで意見が述べられるように指導する必要があります。先生方には、この機会に体験していただきましょう。</p>

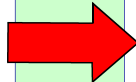
# 先生も体験！メディアの特性を知ろう「カメラワーク」編

## 《写真の特性》同じ被写体でもカメラワークによって印象が変わります！



### アップ

人物に近づいて写すと、その人の表情や身につけているものなど、本人についてのより詳しい情報を伝えることができます。



フレームを変える



### ルーズ

人物から離れて写すと、その人についての詳細な様子は見えにくくなりますが、その分周りの様子が分かります。どんな場所か、他にはだれがいるのか、等の情報が伝えられます。



アングルを変える



### ローアングル

下から見上げるようにして写すこと。同じ人物のアップでも、真正面から写したものとはその人の印象がずいぶんちがいます。より力強く感じられたり、いばっているように見えたり…。また逆に上から見下ろすように写す**ハイアングル**など、ほかにも角度を変えて写す方法はいろいろあります。

3 はじめの写真と「被写体」は変えず、「写し方」を変えて撮影しましょう。そして、違いがはっきりと分かるような原稿を考えましょう。

カメラワークの違いによる印象の違いが  
分かりやすく説明できるような原稿を作  
成します。